

■本誌第 23 号投稿募集■

以下の要領で、本誌第 23 号の投稿を募集します。投稿希望会員は、1.氏名、2.所属、3.連絡先電子メールアドレス、4.題目、5.構想（800 字程度）、6.原稿種類、7.執筆言語を記入のうえ、2022 年 11 月 15 日締切厳守で、以下の編集委員会アドレスまで電子メールで申し込んでください。投稿申込内容を踏まえて改めて投稿の依頼をします。第 23 号の投稿原稿の締切日は 2023 年 1 月 15 日です（当日必着厳守）。

※例年より、1 ヶ月編集スケジュールが早まっておりますのでお気を付けください。

[E-mail] editor@thaigakkai.org

（電子メール以外の方法で原稿などの提出を希望する場合は、予め編集責任者に問い合わせてください。）

『年報タイ研究』投稿規定・執筆要

（2022 年 10 月 8 日改定）

■投稿規定■

1. 資格 当該年度までの会費を納めた本学会会員とする。共著の場合、筆頭著者は本学会会員とする。
2. 言語 本誌の投稿原稿は日本語または英語とする。
3. 種類 投稿原稿の種類は、論文、研究ノート、書評、学術・研究情報、特集とし、原則として、レフェリーによる審査を経る。特集は、趣旨文と 3～5 本の原稿からなり、代表者が全原稿を取りまとめる。
4. 内容 投稿原稿は未刊行のものに限る。但し、他誌で掲載審査中の原稿、掲載が決定しているが未刊行の原稿は、投稿することはできない。本誌への投稿後に同一の原稿が他の媒体において先に刊行される場合には、投稿者がその旨を編集委員会に報告し、原稿を取り下げること。また、博士論文や修士論文をもとにした原稿を投稿する際には、「本稿は、～～大学大学院～～研究科提出の博士論文の一部に、加筆修正を行った」などと注や付記で明記すること。
5. 投稿方法 投稿者は編集責任者へ原稿の電子データファイルを締切日までに送付する。その際に、原稿の表紙に次の連絡先情報を記載する。原稿表紙は査読の対象とはならない。
①氏名（ふりがな・ローマ字表記）、②郵便番号・連絡先住所・電話番号・メールアドレス、
③所属機関・所属機関の住所・電話番号・メールアドレス、④論文・研究ノート等の種類、
⑤論文の題目、⑥ワープロソフトのアプリケーション名。
6. 査読 投稿はテーマの専門領域の研究者のレフェリーによる査読にもとづき、編集委員会が掲載可否を判断する。この掲載認可日を正式な原稿受理日とする。
7. 著作権 本誌に掲載された論文等の著作権に関して、原著作物の著作権は著者に帰属す

る。但し、当学会編集委員会は著作権のうちの複製権・公衆送信権・版面権を有し、本誌に掲載された論文等を学会ウェブページ、および外部の電子ジャーナルプラットフォームにて公開する。

8. 転載について 著者は本誌に掲載された論文等を他の著作物等へ転載することができるが、本誌の版面をそのまま利用してはならない。但し、著者が機関リポジトリ等で電子媒体を用いて公表する際、本誌の版面の使用を希望する場合には編集委員会に申請して、本誌掲載のPDFファイルを掲載することができる。いずれの場合にも、本誌掲載が初出であることを注記などにおいて明示しなければならない。

■執筆要領■

1. ワードプロセッサ等ソフトウェアを使い、横書きとする。
2. 投稿原稿の長さは、「論文」と「研究ノート」は24,000字以内、「書評」は6,000字以内、「学術・研究情報」は4,000～8,000字とする。英文原稿の場合、半角2文字を1文字と計算し、文字数で相当分とする。図版（図・表・写真）は、その大きさに相当する字数を原稿全体の字数に含める。規定枚数を超えた場合は、400字ごとに1,000円の超過掲載料を徴収する。

3. 原稿本文は以下の順序の構成をとる。

題目（日本語原稿の場合には英語題目も）、英文要約、本文、注、文献。

執筆者氏名は、査読における予断を避けるため、原稿本文には記さず、原稿表紙に記す（原稿表紙は査読対象とならない）。

4. 本文の章・節の見出しは以下とする。

1.2.3……、(1) (2) (3) ……、1) 2) 3) ……

5. 本文の注は、説明注（補注）のみとし、引用の出典注は次の6のスタイルとする。本文への説明注（補注）は、その箇所右肩に1) 2) 3)の番号を付け、文末の文献リストの前に一括して掲載する。

6. 引用文献の出典注は、本文の該当個所にブラケットをつけ、[著者姓(タイ人の場合は著者名)(半角アケ) 西暦発行年(数字半角)：ページナンバー(数字半角)]を示す(例：[石井 1999:167-170] [Thongchai 1994:60])。このような文中で引用・参照した文献はまとめて末尾に著者姓(タイ人著者氏名の場合は名)のアルファベット順に、著者氏名・西暦発行年・書名・発行所(単行本の場合)、または著者氏名・西暦発行年・論文題目・掲載雑誌名・巻号(雑誌掲載論文の場合)、掲載ページ、著者氏名・西暦発行年・論文題目・編者氏名・(編)・書名・発行所(論文集収録の論文の場合)の順に一括して掲載する。また同一の著者の同一年次に発行した著書・論文は発行年次の次にa.b.cを付ける。同姓異名の複数の著者の文献を引用した場合は、出典注では姓名共に書いて区別する。

例：

石井米雄 1999 『タイ近世史研究序説』岩波書店。

—— 1969a 「タイの徭役制度の一考察」『東南アジア研究』6(1)：36-54。

—— 1969b 「アユタヤ王朝の統治範囲を示す『三印法典』中の3テキスト」『東南アジア研究』6(2)：377-406。

Keyes, Charles F. 1975 "Buddhist Pilgrimage Centers and the Twelve Year Cycle: Northern Thai Moral Orders in Space and Time." *History of Religion* 15(1):71-89.

Thongchai Winichakul 1994 *Siam Mapped*, University of Hawai'i Press.

7. 図版（図・表・写真）は別紙とし、次のように作成する。

1) 挿入場所を指定する場合、原稿の該当個所に朱書きで指定する。指定がない場合は文末一括掲載とする。

2) 写真は電子ファイルで提出する。容量の大きい画像を送る場合には、事前に編集委員会に相談すること。

3) 図・表は、投稿者本人が責任をもって作成する。編集・印刷過程でコンピューター作成原図・表をそのまま B5 版の頁内に縮小し掲載する。

4) 図版には、図 1、図 2、表 1、表 2、写真 1、写真 2、のように番号を付け、番号と説明のタイトルを表はその上側に、図と写真はその下側に付ける。

5) 図版を引用する場合、特に他人の地図・写真の複写等、著作権法にふれぬように投稿者が各自で注意する。

■投稿時の注意■

1. 提出する原稿ファイルのプロパティの著者名は削除しておくこと。

2. 査読の結果、書き直しを指示された場合には、①修正原稿ファイル、②レフェリーの修正指示に対する修正説明書を、再提出締切日までに編集責任者に提出すること。

3. 原稿掲載が認可された投稿者は最終原稿のファイルを編集責任者にすみやかに提出すること。